

新松田駅周辺整備における駅前広場整備事業及び新モビリティサービス推進事業バス購入について



質問者
井上 栄一 議員



質 駅周辺整備事業駅前広場の具休像、構想は

答 新松田駅周辺整備基本構想に基づき、駅前広場整備を推進している。令和5年に再開発準備組合が設立され、令和6年度末に都市計画決定を目指すしている。

町は地域住民の意見を反映し、まちづくりを進める。地権者の合意を得て、令和6年10月頃に具体的な計画を公表する予定である。

A 駅前広場は10月頃に具体的な計画を公表予定

回答 (町長)



第2回新松田駅北口地区駅周辺整備事業説明会(7月11日開催)

質 新モビリティサービス新規バス購入の今後は、

答 この事業は、公共が行うべき重要なもので、



運行中のAIオンデマンドバス

現在は実証実験としているところである。バス事業を望む多くの人々の期待に応えるためにも、現在委託している民間事業者による本格運行に至らなかつた場合に、何も残らないのでは町としての後の展開ができないので、町が主体となつて車両を購入する予定である。高齢者や移動手段のない方々のために、町として必要な対応をしっかりと行っていく。

人口減少問題に対する町の対応策は



質問者
飯田 一 議員



いま、地方自治体の抱える最大の課題は「人口減少」問題です。

有識者でつくる「人口戦略会議」は4月24日、全国の4割に当たる744自治体で人口減少が深刻化し、将来消滅する可能性があるとするレポートを発表し「少子化基調は変わっていない」と強い危機感を示し、出生率向上に向けた対策を訴えています。

田町は「自然減対策及び社会減対策が必要」と指摘されています。そこで、次のことについて伺います。

質 町からの転出者が転入者を上回っていますが分析はされていますか。

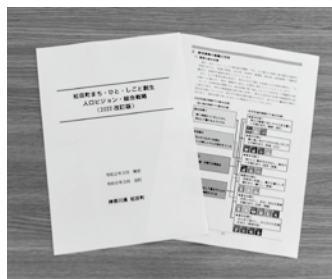
A 若者世代に選ばれる町になるよう、積極的に取り組む

回答 (町長)



答 本町には、雇用創出の場として大きな企業はないが、交通の利便性が高い地域であることから利便性を重視する方に対しては、交通の要所とし

令和5年度に改定されたまち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略



て、併せて、これまでの子育て支援策の充実などについても周知する事により、転出増加に歯止めをかけ、自然減の抑制を図っていく。

質 今地方の自治体では婚活支援の拡充強化を積極的に進め、出生率の向上を図っています。町の取り組みをお伺いします。

答 ほかの自治体でも婚活事業への取り組みは行っており、本町でも、平成28、29年に婚活事業を実施した経緯がある。コロナ禍の時期もあり、現在は行っていないが、県の実施する「恋カナ! プロジェクト」に参画し、今年1月に松田町寄をフィールドとして婚活事業を行った。今後も人口減少を抑制するため他機関と連携した事業の実施など、様々な事業にチャレンジし、若者世代に選ばれる町になるよう、積極的に取り組んでいく。